

平成25年6月6日

ECO縁日2013活動報告書

シニア自然大学校 環境科

日 時	6 / 1 (土曜日) 9:00~16:00 6 / 2 (日曜日) 10:00~16:00	天候	1日晴れのち曇り のち小雨 2日曇り時々晴れ	記録者	小林 衣本
参加者	(1日)井上(加)、田中(晃)、田中(富)、河合、衣本、小林 (2日)一ノ瀬、飯盛、稲村、奥野、上須、衣本				
主催	大阪市環境学習センター・生き生き地球館				
場所	鶴見緑地 生き生き地球館およびその周辺 環境科は陳列館ホール				
当ブースへの参加者	(1日)大人 54人 子ども 53人 計 107人 (2日)大人 76人 子ども 71人 計 147人 合計 254人				
活動内容	<p>1. テーマ:大切な「水」のことを、もっと考えてみよう!・パネル展示、クイズ:エコ工作・水鳥、トンボのブローチ</p> <p>2. 工作の制作者数 (1日) 水鳥 36個、トンボのブローチ 56個、計 92個 (2日) 水鳥 38個、トンボのブローチ 59個 計 97個 合計 189個</p> <p>3. 環境クイズへの参加者数 (1日) 30件 (2日) 35件 計65件 (他に口頭による説明・意見交換有り)</p> <p>4. 状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9:00ごろから準備、机、椅子の設置、パネル展示準備、工作準備を行う。 ・各日 11:00より開始 16:00終了 ・お客さんは工作の方を目的に来られます、そこでまず工作をしてもらい、それが終了するとパネルの方に誘導。クイズの用紙を渡し、パネルの説明し、クイズに答えてもらうようにした。 ・クイズは単に解答を求めるのではなく、お客さんとの対話を重点とするような進め方をした。 ・家族連れの小学校低学年以下のお子様連れが多かった。同伴の家族の方も工作はしなくても、クイズには参加して頂いた。 ・シニア層の参加もあり、材料の吟味から入っておられました。出来上がりに満足そうでした。クイズにも参加して頂いたが活発な議論をされていた。 ・小さいお子さん達もエコ工作を一生懸命に作られていた。 				
スタッフの感想(評価)	今回の活動に参加したスタッフの感じた、良かった点、反省点等を別紙にまとめた。これを今後の実施方法に活用して行きたい。 (別紙:ECO縁日2013に参加して 参照)				

工作のモデル



工作（トンボのブローチ）



工作（水鳥）

工作の風景



環境クイズの風景



当日参加のスタッフ



6月1日(この日、ほかに田中晃さん参加)



6月2日

エコ縁日 2013 に参加して

梅雨の中休みの 6月1日・2日 大阪市環境学習センター・いきいき地球館主催のエコ縁日 2013 が行われました。

環境科も飯盛代表始め、一ノ瀬さん、小林さん、上須さん、そしてインプリグループの 12 名が 2 日間に分かれて参加し、子供たちや付き添いの親御さんたちと、大切な“水”をテーマにパネルを見たりクイズを考えたり、大人気のどんぐりの工作を楽しんだりと有意義な一日を過ごしました。

環境科からの参加者 12 名、初めての方もベテラン(?)もそれぞれ印象に残ったことをまとめて頂きました。

【1日参加】

* エコ工作：大変好評で皆さんに楽しんでもらえた。 小学校高学年は少なく幼稚園以下のお子さんが多かったが、やさしい工作だったので自分の力で作り上げられたので、満足度が高い。

環境クイズ：少し難しいとの意見もあったが、対話のきっかけとなった。

付き添いのご両親の水への関心も高く、しつけも行き届いているようだ。

バーチャルウォーターに関しては新鮮な印象をもたれたようだ。

同世代のシニアに関しても会話が弾み、子供向けの環境啓発をすばらしいと捉えていただいた。(nk)

* ブースの場所の影響もあり、落ち着いた対応が出来た。

水の問題は子供には難しく、ほとんど大人への啓発になったが、熱心によく聞いてくださった。

こちらから一方的に話をするのではなく、質問をして相手の意見を聞きだすこともよ

いと思った。(k i)

- * 初めての参加。人に説明することの難しさを感じた。

土曜日だったせいか、高学年の子がいなかったのが残念。

年配の女性も楽しんで、よく話を聞いてくださり、若いお母さんや子供たちからも元気をもらった。

これからも私達の話しを聞いてよかったと思っていただけるようにしたい。(k k)

- * 子供たちも保護者の方も楽しんでいただき、よい刺激を与えられたと思う。

ポスターは保護者向けだったように感じる。

クイズは大人用・子供用 2 種類あったほうが話がしやすかったかもしれない。水の大切さはしっかり伝わったようだ。

何よりよい勉強になった。(f t)

- * 小学校低学年以下の家族連れが多かった。シニア層の参加もあり工作の出来上がりに満足そうだった。

クイズ・パネルは大人の人を中心になったが、水の利用が難しいことに改めて感心されていた。～他のブースで「水の話、難しかったな～」とはなされているのを聞いた。(k k)

【2日目参加】

- * 子供たちが一生懸命ペンダントを作ってくれて、こちらも楽しかった。

環境クイズは難しく、少し疲れた。3～4年生でも理解が出来、大半は知っていると言うくらいのやさしさでも良いのではないかな？

ポスターとクイズの単位をそろえて方がよかったのではないかな？(k u)

* 初めて参加したがなかなかの賑わいだった。エコではなく縁日の色合いが強くビジネスの延長の感もあった。

われわれのブースは室内で、薄暗くもう少し明るい場所がよかった。

工作は比較的短時間に出来上がり、達成感があってよかったと思う。(h i)

エコ縁日は難苦しい環境問題のブースだけでなく、パフォーマンスあり、ゲームコーナーあり、美味しそうな食べ物屋さんなど74のブースが出店していて、結構一日楽しめるイベントです。私達環境科のブースの目の前にもとっても気になる手作りの和菓子のお店がオープンしていました。朝の準備が終わるとお土産は何にしようか早速チェックしに行きました。またすぐ近くのブースには“ふくしま”の文字を染め抜いた赤いはっぴを着て、お米の袋を並べている人もいます。そう！あの福島県からこられた方々です。こちらも早速福島の“今”を聞きに行きました。

いつもながら、エコ工作は人気です。今回は比較的易しいペンダントだったので小さな子一人で挑戦できます。出来上がったときの笑顔はすばらしい！

クイズは難しかったとの意見もありましたが、答えを探すのではなく、相手に応じて自分の伝えたいことを思う存分語っていただければ良いと思いました。実際楽しくコミュニケーションが取れたようです。

奥野 記